

令和7年度 立川市西砂学習館運営協議会会議録（第6回）

日 時：令和7年10月17日（金）午後6時～午後8時

出 席：大槻（会長）、加藤（副会長）、長谷川、小笠原、岩元、能村、森、広瀬（敬称略）

欠 席：内金崎、小林

傍 聴：なし

事務局：高木（西砂学習館係長）、水崎（西砂学習館職員）

1 開会挨拶（会長）

（会長）：ようやく気温が下がり始め、秋めいてきた。令和7年度の地連協活動も後半に入り、現在は11月「地域再発見講座」、12月「西砂ウインターイベント」、2月「にしづな親子塾」の準備が進められている。学習館を通して「この地域に住んで良かった」と思ってもらい、生涯にわたって知的活動が展開できるような地域を作つていければうれしい。地域の人が楽しみに学習館に来られるように、活動をさらに良いものにして、令和8年度につなげたい。

2 協議、報告及び連絡事項

（1） 第5回運営協議会（9/11）の会議録（案）について

（事務局）：修正点等がある場合には、1週間以内（10月24日まで）に事務局に連絡をお願いする。（資料1）

（2） 地域活性化講座について

①地域活性化講座の準備状況について

（事務局）：資料2を基に説明。

ア 地域再発見（地元を学ぼう）について

（会長）：「もっと知りたい！砂川の成り立ち」という講座名でいく。講師の豊泉さんは若い人に参加してほしいという希望があり、地連協としては新住民に自分たちが住むエリアを知ってほしいという願いがある。多くの方に参加してもらえるように皆さん之力を貸してほしい。

イ 西砂ウインターイベントについて

午前：3年生以上を対象に書き初め、書き納めを行う。

午後：凧づくり、または、竹とんぼづくり（材料費200円）。

（会長）午後の工作は、20人が対応できる最大人数か。

（事務局）そのように考える。

（委員A）ウインターイベントで、参加者の費用負担は過去にあったか。

（会長）過去にはないと記憶している。

（事務局）材料費（実費）は負担してもらわない方向で検討する。

（会長）西砂エリアは、新住民が多くおられる。地域で子育てをすることに関して、子育て世代の意見を拾う方法を検討したい。親子向けのイベントを実施し、そのときにアンケートを取ることも考えられるが、人数が限定される。チラシなどに二次元コ

ードを入れて、意見を寄せてもらうという方法はいかがか。

(委員B) 新住民が居住しているエリアは限られるので、チラシをポスティングする方法はどうか。広く浅く広報しても若い世代が集まらないなら、それくらいの活動をしないと反応はないと思う。

(委員C) チラシのポスティングは賛成だ。

(委員D) 若い母親世代は、玄関のチャイムを押しても、部屋の中のモニターを確認して「チラシをポストに入れておいてください」と言い、接触すること自体が難しい。二次元コードで意見を募集することが現実的だと思う。

(委員E) チラシも受け取ってくれない場合が多い。きっちりした意見は吸い上げられなくとも、質問内容を厳選して、選択制にするなどの内容でないと、回答を「丸投げ」では、若くて忙しい世代は答えてくれない可能性が高い。チラシに二次元コードを入れる方法は、意見を拾うチャンスかとは思う。「西一元氣通信」に二次元コードを入れるのがいいのではないか。多くの意見を得られるとは思わないが。また、自治会がない、自治会に入っていない世帯に「西一元氣通信」をポスティングすることは効果的だと思う。

(会長) ターゲットとして、子育て世代や新住民の声をできるだけ拾いたい。「にしすな親子塾」の後に取るアンケートでは、若い親御さんの意見を聞くことができるだろう。

(委員F) 「学習館って何? 何をしているところ?」という知識がない方も多い。学習館の活動を知らなければ、講座に申し込むことはないだろう。新興住宅地に「西一元氣通信」をポスティングすると、それらを知らしめることができ、意見を吸い上げるきっかけづくりになると思う。

(会長) 「西一元氣通信」の一面について、内容を検討する。また、今後も地域の声を拾う方法について、時間をかけて検討していきたい。

ウ にしすな親子塾について

日時：2月 15 日（日）午後 2 時～4 時

会場：西砂児童館

(会長) 日時・会場について、問題ないか。

(委員G) 問題ない。

（3）施設予約システムのリニューアルについて

(事務局) : 資料 3 を基に説明。

現システムの事業者が撤退するため、新システムを導入する。新システムは東京都が調達したもので、青梅市や府中市などすでに稼働している。しかし、現システムのように立川市用にカスタマイズすることは難しい。

(委員E) : 現システムでは、Gmail は使えなかったが使えるようになるのか。

(事務局) : 使える。

(委員E) : パスワードは引き継がれるのか。

(事務局) : 初回ログイン時は「t+登録電話番号」がパスワードになっているので、利用者それぞれで再設定していただく必要がある。

(委員C) : 本予約の手続きは不要なのか。

(事務局) : 現金払いの場合のみ、窓口での本予約が必要となる。
(委員B) : 利用者団体にはどのように周知するのか。
(事務局) : システム変更の案内について、窓口での手渡しの他、説明会の開催を予定している。

(4) 地域学校コーディネーターとの情報・意見交換会について（2学期分）

(事務局) : 資料4を基に説明。
委員のみなさんは、メール等で都合がいい日時をご連絡ください。
松中小学校は、地域学校コーディネーターが1人増えて4人になったと聞いている。
(委員F) : 元PTA会長だった方だ。
(事務局) : 今週末（10月18日）に実施される運動会のお手伝いから活動されるそうだ。

(5) 学校だよりについて

(事務局) : 西砂小、松中小、立川第七中の学校だよりを準備したので、ご都合がいい時に
お目通しください。
(委員A) : 松中小の学校だよりに、地域学校コーディネーターが紹介されている紙面が
ある。
(会長) : 学校によっては、学校だよりは電子で配信されるのみで紙ベースでは配布され
ていない。

(6) 地域福祉ウォッチャー調査について

(事務局) : 資料5を基に説明。
地域福祉課から、地域福祉ウォッチャー調査の依頼が来ている。可能であれば、継
続調査をお願いしたいのだがいかがか。昨年同様、委員A、委員Eと、今年度は会
長にお願いできればありがたい。
(会長、委員A、委員E) : 承知した。

(7) 各委員からの報告及び連絡事項について

(委員) : 11月1・2日 リスルホールにて立川市民文化祭が開催される。展示の部と公
演の部があり、それぞれに西砂川文化会から参加する。
10月5日 立川第七中にて「第25回東日本学校吹奏楽大会出場記念演奏会」が開
催された。多くの地域の皆さんのが来校され、感動したというお声とともに多額の募
金が集まった。生徒は、地域の皆さんの熱い思いを持って本番の演奏会に臨み、銅
賞を受賞することができた。高校受験が終了した3月には、また演奏会を開くそ
うだ。
(会長) 「出場記念演奏会」は、地域学校コーディネーターの委員が尽力されたことから
開かれ、副校長から感謝の言葉を聞くことができた。1学期中に職員会議で地域学
校コーディネーターの紹介をしてくれたことから、地域学校コーディネーターの
認知度も上がった。地域と学校のつなぎ役として機能していくことを学校も期待
しているし、そのことが「かたち」になった好例で嬉しく思う。

(委員) : 9月 21日 自治連主催の健康フェアの手伝いに行き、ホットドッグを 200 個作った。立川第七中の体育館は広いため、多くの来場者があった。

立川第七中の「第 25 回東日本学校吹奏楽大会出場記念演奏会」には、自分も行つた。顧問の教員が「中学生は天才だ」と言っているという話を聞き、「育て方がうまいな」と思った。自分の娘の「時代」は、そのように言われたことはなかった。生徒を盛り上げながら指導していると、こんなに素晴らしい音楽ができるのだと実感した。課題曲は難しい曲だったが、すごく上手だった。合間合間の 1 年生のおしゃべりもかわいらしく、すごくいい演奏会だった。ありがとうございました。

(委員) : 3 年生は、修学旅行と重なり、新幹線で合流してそのまま全国大会に向かうというハードスケジュールの中、がんばった。

(委員) いい思い出になっただろう。

11月 3 日 たましん RISURU ホールにて中学生の主張大会。西砂青少健からも 2 人が審査員になる。

11月 5 日 西砂小学校の 5 年生が麦撒きをする。6 年生になったときに麦刈りをするので、それまでの成長過程も見せてていきたい。

(委員) 9月末 東団地自治会の防災訓練に児童館から 4 人の児童が参加した。初期消火や通報訓練などを実施した。

12月 7 日 西砂自治連主催の防災訓練に参加する。自治連からブースのスタッフとして手伝いを依頼され、ありがたいお申し出なので、子ども達を連れて行くべく、現在は募集チラシを作成中だ。

10月 18 日 松中小運動会。子ども達はウキウキしている。

10月 25 日 ハロウィン。西砂青少健にもお世話になりながら、地域（東団地自治会、フミダンシングアカデミー、松中団地、松中保育園（今回初））4 か所を巡回する。

11月 立川ダイスのチアチームを講師に迎え、チアダンスをする。

11月 28 日 にしづな親子塾の講師を依頼している亀田さんの工作イベント。

社協関係で、個人的に参加するイベントを紹介する。

11月 1 日午後 2 時～4 時 西砂学習館で「まちフェス」を開催する。最近、西砂町・一番町・上砂町の一部で、地域食堂や親同士のサークル等の新しい団体が立ち上がっている。このエリアの特徴として、高齢者が住む大型団地がある一方で、子育て世代など新住民が流入していることがあげられる。それらの人々が世代を問わず地域を作るきっかけづくりにしたいとの目的があり、現時点で出展予定は 9 団体だ。内容は、来場者とコミュニケーションを取りながら団体の活動紹介をしたり、逆に「こんな活動をしてみたい！」という相談を受けたりすることなどを考えている。3 連休の初日のため、集客が課題だと考えられ、チラシが完成したら児童館に置いたり、「まちねっと」に載せたりなどして周知を図りたい。自分は、児童館としてではなく、子ども食堂の実行委員として参加する。

「ワーカーズコープ」の西砂児童館の指定管理運営が今年度末で終了する。次年度以降の北地域の指定管理運営のプロポーザル（企画競争入札）が昨日（10 月 16 日）に開催され、プレゼンテーションを行ってきた。結果は 11 月には出るそうだが、議会承認を経るため公にできるのは 12 月に入ってからになる。状況が変わるかも

しれないが、どのような状況にせよ、児童館に子どもが集うことは変わらないので、同じように居場所を引き継いでいければと思っている。

(委員) : 11月1日 錦学習館にて「戦後80年ノーベル平和賞受賞・記念講演～伝え続ける被爆者の願い～」講座。講師はイタリアの表彰式に出かけるなど、精力的に活動している。お時間があれば参加してください。

その他、立川ユネスコ協会で「ウクライナ」に関するイベントを企画している。一昨年、20代を中心に10人が松中団地に避難してきた。その人たちはなかなか日本になじめないようだ。ウクライナから一橋大学に留学していて、現在博士課程に在籍している「ヤンナさん」と母親が、ウクライナの人同士のつながりをつくりたいと考えており、地域の人たちの協力を得ながら進めていきたい。

(委員) : きらり・たちかわ秋号が発行された。特集は「立川市第3次スポーツ推進計画」が策定されたため、ボッチャとモルックを取りあげた。

①(モルック) シルバー大学モルック講座の卒業生によるサークル活動中のもの、
②(ボッチャ) 市内12地区体育会に取材したときに車いすの方がいらしたので、写真撮影を許可してもらったもので、それぞれ表紙にすることができた。

裏面の図書館連載は、錦図書館の順番になり、今回で地区館は終了した。

12月発行の冬号は、中央図書館の特集で、裏面だけでなく3頁の記事になる。内容は、図書館職員に書いてもらう。

(委員) : 西砂パソコン倶楽部では、9月に西砂学習館にて市民企画講座「Word入門」、10月にアイムにて男女平等参画「Excel講座」を開催した。受講者の中から会員が増え、うれしく思う。また、3月には、市民力向上プロジェクト講座「Microsoftフォトを使った写真編集講座」を行う予定だ。

先日、町民運動会に参加し、久しぶりに縄引きをした。自治会に入っていない新住民が見学に来たという話を聞き、自治会側からも呼びかけをする必要があると感じた。高齢化が進み子どもの参加も少ないので、今後も継続していく方法を皆で考えていきたい。

今年のサマーイベントで家族がお世話になり、それがきっかけで多文化共生プロジェクト「親子で学ぶイギリスの人々と生活文化～手作りカードをおくろう～」講座を11月15日に西砂学習館で行うことになった。(企画者は砂川学習館係) 当日は、自分も応援に行く。対象は小学生以上の子どもと保護者だが、ぜひみなさんも来てください。

(委員) : 一番町傾聴クラブは、委員Gからの話題提供にもあった「まちフェス」に参加する。「傾聴」が認知されてきて、依頼が非常に増えてきた。現在、主な活動場所として、特養、サ高住などがあり、4~5か所に、3~4人で訪問している。依頼があっても今のメンバーだけでは対応しきれず、人数を増やさないといけないので、チラシを作成した。錦、一番に統いて、栄あたりに新しく団体ができればいいと考えている。一番町傾聴クラブには、高齢になっても少しでも人の役に立てるボランティアをしたいという人が入ってくれる。例会は、月に1回(西砂学習館で第一水曜日)、費用は年会費1,000円のサークルだ。

(事務局) : 本日(10月17日)、スマートフォン教室を行った。20人の申し込みがあり盛況のうちに終了した。継続して学びたいという意見も多くあった。

錦学習館にいたときに、錦の地運協委員と「傾聴ボランティア養成講座」を行い、「にしき傾聴クラブ」ができた。市内で広がっているよううれしい。

(事務局) : 施設予約システムの変更に合わせて、現在運用方法を検討しているところだ。

西部連絡所が年内で廃止される。西部連絡所の職員は、住民票発行等の手続きの他、様々な問合せに対して、高齢者等に丁寧に対応している。そのため、撤退後も電話回線を一本残し、直接本庁とやり取りできるように考えている。

また、現事務室に市民スタッフルームと男子更衣室を設置する予定だ。

(委員) : 市民スタッフルームは、自分たちも使えるのか。

(事務室) : 簡単な打合せは可能だ。

(会 長) : 地域の方の声を拾う方法を今後も探っていきたいのでよろしくお願いします。

3 その他

○次回・次々回の学習館運営協議会の日程について

※次回開催；次回（第7回）は、令和7年11月12日（水）18:00～

次々回（第8回）は、令和7年12月10日（水）18:00～

<配布資料> • 資料1 令和7年度 立川市西砂学習館運営協議会会議録(第5回)(案)

• 資料2 地域活性化講座の準備状況について

• 資料3 施設予約システムがリニューアルします

• 資料4 【令和7年12月】情報・意見交換会日程調整表

• 資料5 地域福祉ウォッチャー調査の実施について

西砂小学校、松中小学校、立川第七中学校の学校だより（資料番号なし）
きらり・たちかわ 立川市民交流大学 活動の記録 令和6年度を振り
返る